

令和3年度第2回 奈良県市町村長サミット

広陵町における

ファシリティマネジメントの推進



町のイメージキャラクター
かぐやちゃん



令和3年10月19日（火）
広陵町長 山村 吉由

本日お話しすること

- 1 広陵町の現状等
- 2 広域連携について
- 3 その他ファシリティマネジメント

本日本話すること

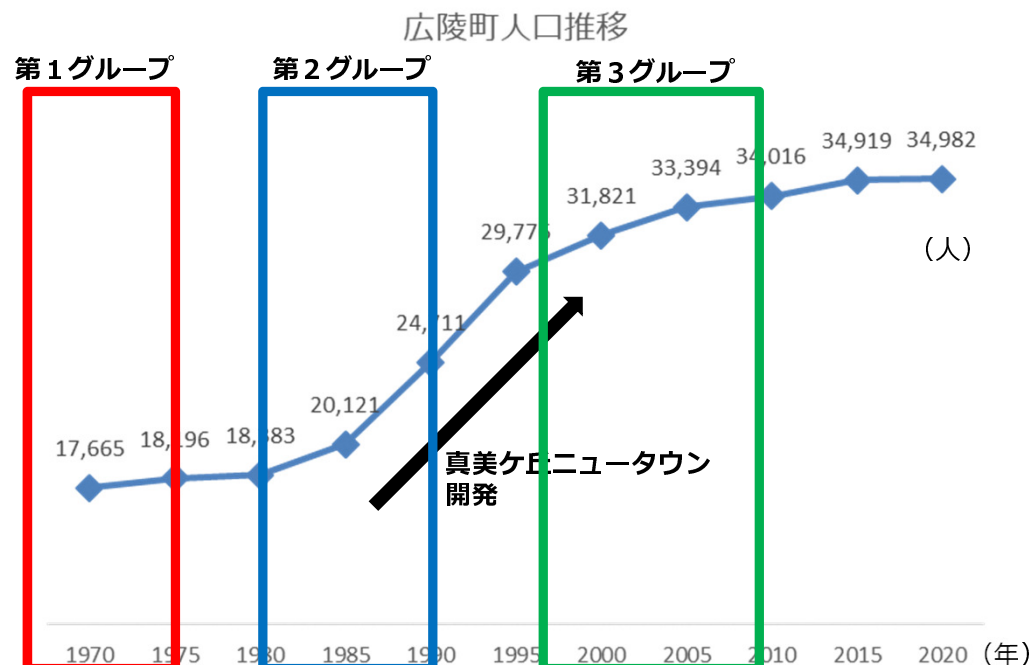
1 広陵町の現状等

2 広域連携について

3 その他ファシリティマネジメント



広陵町の人口と公共施設 (マクロ的視点)



・本町の特徴としては、建設時期により3つにグルーピングされます。

- ▷ **第1グループ**・・・形成期 シンボルの公共施設の立地
- ▷ **第2グループ**・・・発展期 国体開催及び現URの住宅開発による立地
- ▷ **第3グループ**・・・成熟期 町の発展の下支えとなる公共施設の立地

※本町の公共施設総数 **96施設** **118,063.76m²**
 人口一人当たり延べ床面積数 **3.25m²** (平成30年時点)

人口上昇期に建設した施設の**老朽化が著しい**状態となっています。

| |
|--|
| <p>第1グループ 町の形成期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広陵西小学校 (1968年) ・役場庁舎 (1971年) ・中央公民館 (1973年) ・古寺町営住宅 (1974年) |
| <p>第2グループ 町の発展期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東体育館 (1979年) ・中央体育館、西体育館(1980年) ・北体育館 (1981年) ・広陵北小学校 (1980年) ・真美ヶ丘第一小学校 (1984年) ・真美ヶ丘中学校 (1986年) ・真美ヶ丘第二小学校 (1987年) ・広陵中学校 (1990年) ・真美ヶ丘体育館 (1992年) |
| <p>第3グループ 町の成熟期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしお元気村、図書館(1997年) ・総合保健福祉会館 (2001年) ・広陵東小学校 (2002年) ・グリーンセンター (2007年) |

広陵町の公共施設の特徴（ミクロ的視点）



① 学校教育系施設・・・43,096.00㎡
→公共施設全体の約**4**割を占める。

② 教育系施設(80棟)と子育て支援施設(43棟)で、合計123棟
→公共施設全体の約**5**割を占める。

③ さらに②に町民文化系施設の38棟を加えると
→公共施設全体の**7**割強を占める。

④ 建築後30年を超える施設の割合
・・・55,104.07㎡
→公共施設全体の約**6**割を占める。

⑤ 新耐震基準施設の割合・・・76,025.38㎡
→公共施設全体の約**7**割を占める。

広域連携のきっかけについて



平成28年3月策定 「広陵町公共施設等総合管理計画」

⇒ **目標 公共施設の長寿命化と施設総量の縮減によるコストの低減**



広陵北体育館



広陵東体育館



広陵西体育館



真美ヶ丘体育館

| | | |
|---------|--------------------|--|
| 広陵北体育館 | 746 m ² | • 施設の劣化状況、利用状況等を踏まえ、建替時期(2040年)にあわせて用途廃止します。 |
| 広陵東体育館 | 746 m ² | |
| 広陵西体育館 | 749 m ² | |
| 真美ヶ丘体育館 | 811 m ² | • 今後の利用ニーズや他体育館の用途廃止に伴う将来の施設のあり方等を考慮し、建替時期(2052年)にあわせて用途廃止します。 |

- ・稼働率が低い
- ・更新費用が高い

体育施設について用途廃止後、本町の施設以外での利活用について検討(広域連携)

本日本話すること

- 1 広陵町の現状等
- 2 広域連携について**
- 3 その他ファシリティマネジメント



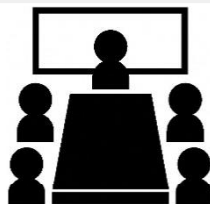
ファシリティマネジメントの推進（県）



県が市町村のファシリティマネジメントを積極的に支援

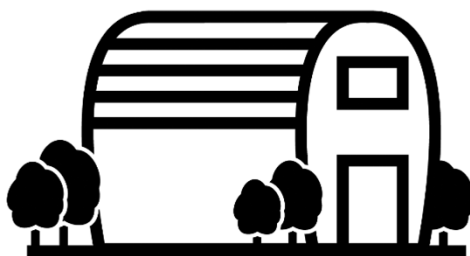
県、市町村の枠を越えて、**公共施設の共同管理・共同運営の研究**

県主導ワーキンググループ開催
⇒（平成28年度）



平成28年度

県内市町村の**文化ホール**
広域での利活用の可能性を検討
⇒講師：早稲田大学 小松教授、前橋工科大学 堤准教授



平成29年度

県内市町村の**体育館**
広域での利活用の可能性を検討
⇒講師：前橋工科大学 堤准教授

課題

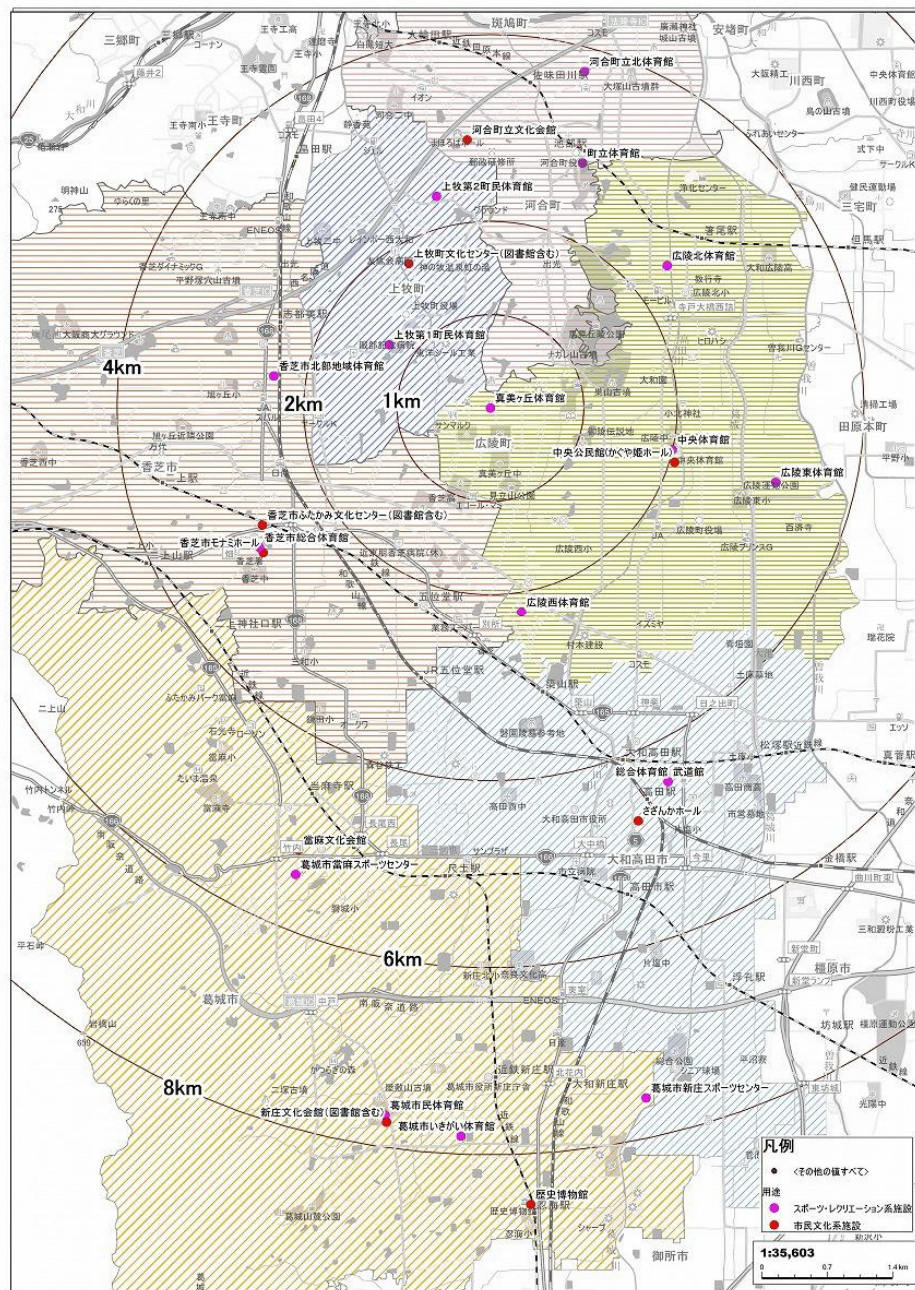
文化ホールや体育館は**財政負担が過大**

→今後住民ニーズを満足させる再整備が困難

分析

単独の市町村で施設の管理や運営を行うのではなく、
広域連携を検討・推進することで**住民サービスの向上**に繋がる

広域連携の具体的検討



○広域連携検討実施の流れ(平成30年度)

1 当町の生活圏及び従前実施した「公共施設利用者アンケート」により、**移動可能距離**を勘案 (車で10分~20分の距離)



2 参加の呼びかけ

※近隣市町へ広域連携のメリットを認識いただく。



3 県と当町で働きかけや外部講師による**FM勉強会等**を実施 ※前橋工科大学 堤准教授



4 広域連携担当者WG立ち上げ

令和元年度

「公共施設に関する中和・西和広域連携検討会」 設置

広域の該当施設数について



中和・西和広域連携における公共施設の共同利用等検討対象施設一覧

広域連携(共同利用等)検討対象施設は、参加自治体において一律に設置している体育館(アリーナ)及び文化施設(ホール)とした。

| 体育館(アリーナ) | | | | 文化施設(ホール) | | | | |
|------------|------------|---------|-----|--|------------------|----------|------|----|
| 自治体 | 施設名 | 延べ面積(㎡) | 建設年 | 自治体 | 施設名 | ホール座数(席) | 建設年 | |
| 大和高田市 | 総合体育館 | 5,514 | S57 | 大和高田市 | さざんがホール | 1,040 | H8 | |
| 香芝市 | 香芝市北部地域体育館 | 758 | S53 | 香芝市 | 香芝市ふたがみ文化センター | 310 | H3 | |
| | 香芝市総合体育館 | 6,169 | S52 | 葛城市 | 新庄文化会館 | 714 | H4 | |
| 葛城市 | 葛城市民体育館 | 1,946 | S50 | | 葛城市文化会館 | 500 | S63 | |
| | 葛城いきがい体育館 | 1,122 | S61 | 歴史博物館 | 200 | H11 | | |
| | 葛城スポーツセンター | 3,406 | S58 | 上牧町 | 上牧町文化センター | 1,003 | H5 | |
| 葛城スポーツセンター | 958 | S55 | 王寺町 | | 王寺町やわらび会館 | 202 | H7 | |
| 上牧町 | 上牧第1町民体育館 | 706 | | S57 | 王寺町文化福祉センター | 668 | S57 | |
| | 上牧第2町民体育館 | 882 | | S54 | 王寺町地域交流センター | 270 | H16 | |
| 王寺町 | 王寺アリーナ | 4,841 | H2 | いずみスクエア内ホール | 224 | H30 | | |
| | いずみアリーナ | 1,232 | H30 | 広陵町 | 広陵中央公民館(かくや姫ホール) | 404 | S47 | |
| 広陵町 | 広陵中央体育館 | 3,127 | S55 | | 河合町 | 河合町立文化会館 | 607 | H3 |
| | 真美ヶ丘体育館 | 811 | H4 | | 合計 12施設 | | | |
| | 広陵北体育館 | 746 | S56 | 大和高田市 | 葛城市 | 檀原市 | 明日香村 | |
| | 広陵東体育館 | 746 | S54 | | | | | |
| | 広陵西体育館 | 749 | S55 | | | | | |
| 河合町 | 河合町立北体育館 | 510 | H1 |   | | | | |
| | 河合町立体育館 | 1,530 | S53 | | | | | |
| 合計 18施設 | | | | | | | | |



※施設種別については、奈良県ファシリティマネジメント推進部の施設調査表から抜粋

○3市4町圏域

圏域人口：275,520人 **体育館18**
(平成27年国調データによる)

圏域面積：112.14km² **ホール12**



○人口同規模自治体

茨木市：280,033人 76.49km²

体育館5、ホール2

八尾市：268,800人 41.72km²

体育館2、ホール1

定期的な広域連携検討会開催



総務省の「新たな広域連携推進事業」補助金

※県の支援・協議により申請。100%補助で前橋工科大学堤先生がアドバイザーとなって検討を開始

広域連携における中和・西和広域連携検討会

令和2年11月開催の様子



県・各市町担当課長・担当者会議



ワークショップ



アンケート調査

外部**アドバイザー**
による**知識取得**

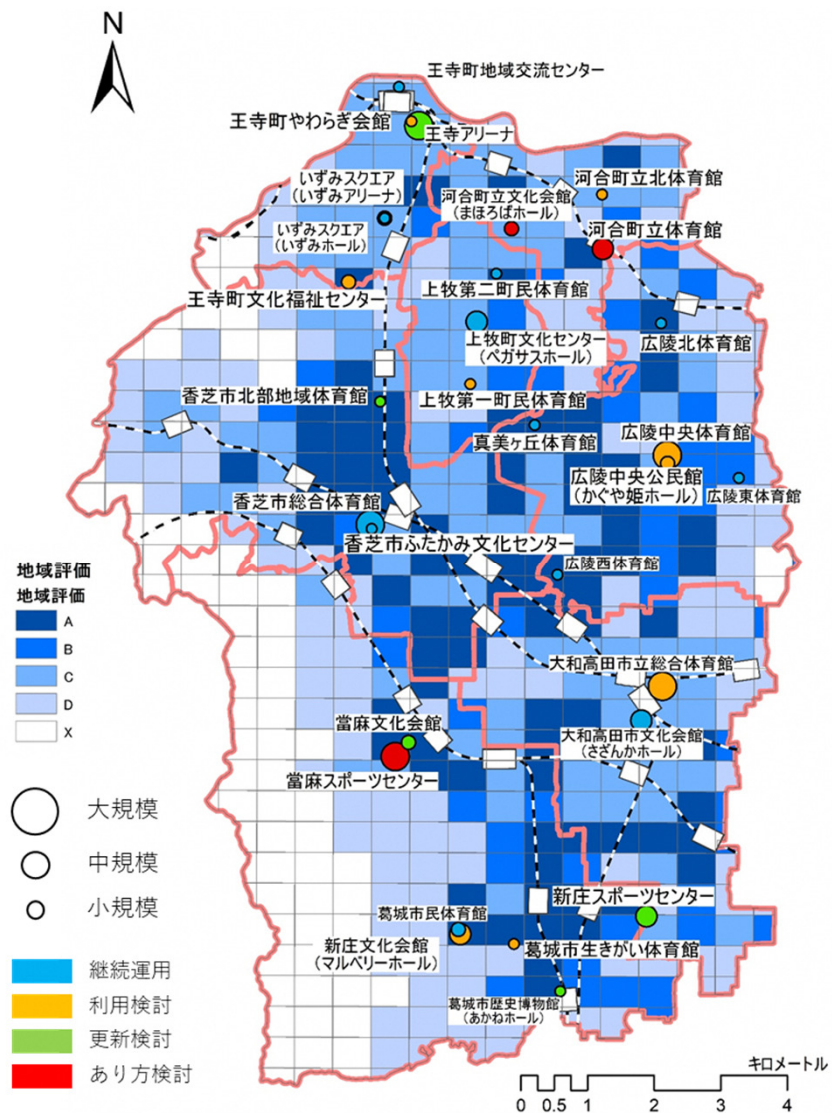
意見交換により、
広域連携の**課題共有**

各公共施設利用者の
実態把握と分析

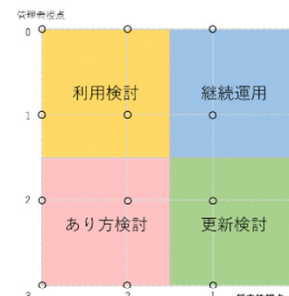
広域連携検討会における分析



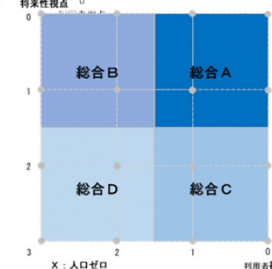
施設評価…耐震有無や利用率など分析
 地域評価…ハザードマップ、人口推移を分析



| | | |
|-------|-----|------|
| 管理者視点 | 健全性 | 建物性能 |
| | | 耐震性能 |
| | 安全性 | 漏点検 |
| 利用者視点 | 経済性 | 消防点検 |
| | | 運用費 |
| | | 施設費 |
| | 立地性 | 敷地環境 |
| | | ハザード |
| | | 機能性 |
| | 対応性 | |
| | 活用性 | 稼働率 |
| | | 利用率 |



| | 6項目 | 使用データ |
|-------|---------|------------------------------------|
| 将来性視点 | 安全性 | ハザードマップ (土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所、浸水想定区域) |
| | 健全性 | 高齢化率 |
| 利用者視点 | 発展性 | 人口推移率 |
| | 利便性 | 人口密度 |
| | 発展度 | 都市計画区域、DID地区 |
| | インフラ充実度 | 道路延長 |



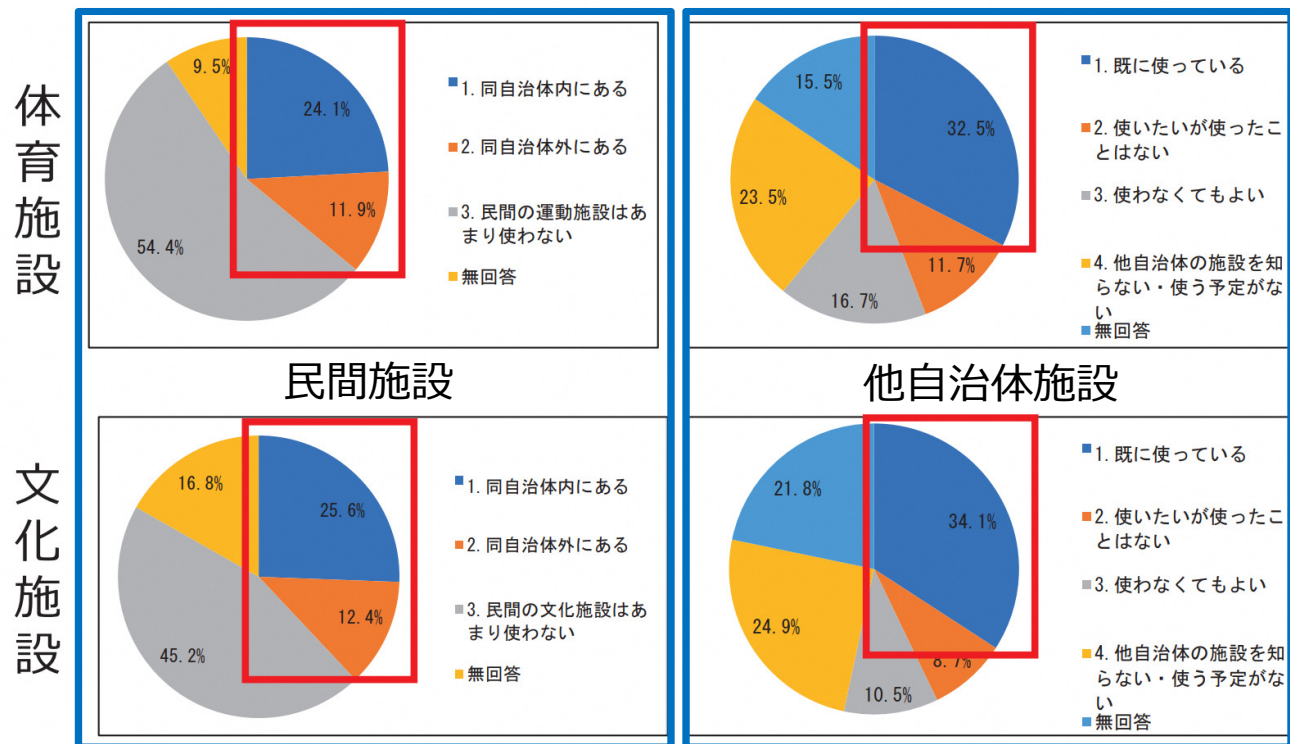
客観的な施設情報の収集・共有
 →施設の状況把握、施設の実態把握から
自治体間比較が可能

→公共施設の共同利用に向けた整理
予約システムの共同化等

広域連携検討会における分析



施設利用者アンケートの実施



約 1 / 3 が民間施設を利用し、**約 1 / 3 が他自治体施設を既に利用**
→利用者は広域の利用ニーズがあり、改めて共同利用の可能性が明確化

住民のメリット : 施設規模に応じた利用、近接の施設を利用

自治体のメリット : 稼働率の改善や利用料収入の増加と柔軟な施設再配置による課題解決
自治体間の連携強化

広域連携検討会事業の実績共有



公共施設に関する中和・西和広域連携検討会における 成果報告会（参加市町の首長の皆さま向け）



令和3年8月開催



大和高田市



香芝市



葛城市



上牧町



王寺町



河合町



広陵町

事業成果について **各市町で共有**

令和3年度において、各市町で**協定締結**に向け
公共施設の共同利用に向けた本格的な協議を実施

本日本話すること

- 1 広陵町の現状等
- 2 広域連携について
- 3 **その他ファシリティマネジメント**



幼稚園跡地の利活用について



北東側写真

「幼保一体化総合計画」に基づき、北保育園と北幼稚園を統合し、「認定こども園」を立地することとなったため、幼稚園跡地が不要となり、ファシリティマネジメントの一環で売却を検討



⇒ **最小の経費で最大の効果** を第一目標

○町内に唯一存在する近鉄箸尾駅に近接、市街化区域内に属する
→公共施設用地での利用ではなく**民間提案を活かした土地活用**

○第1種住居地域であるが、周辺には（株）飯田（長龍酒造）、三笠産業（株）及び南都銀行箸尾支店等の事業者が集積している
→**一定程度企業（事業所）立地の可能性**

○幼稚園は地域住民が憩える公共福祉的な空間
→**地域への貢献度（地域の魅力・価値の向上）**があることを売却条件

サウンディング型市場調査 ⇒ 公募型プロポーザル

民間事業者提案について



○売却事業者 長龍酒造株式会社

○売却面積 4,494.03m²

○提案内容

事業趣旨 ⇒ **「お酒のある豊かな生活を提案し地域に貢献する」**

STEP① 挑戦 広陵町初のクラフトビール醸造事業の立ち上げ

STEP② 交流 地域住民とのコミュニティスペースの創造

STEP③ 連携 地場産業と地域が連携するモデル事業

STEP④ 貢献 広陵町外・奈良県外・日本国外からの観光誘致及び集客

まちの資源と共に付加価値を創造していく事業モデルの構築と挑戦



公民連携によるファシリティマネジメントの実現

新たな地場産品の創出について



CHORYO
Beer in Mind



NARA
- SINCE 2021 -

奈良県広陵町
ふるさと納税

長龍酒造製造 奈良県産米使用

ライスラガー

「もう一度飲みたいビール」

毎日のビールとして飲んで欲しいから
ホップや麦は抑えめに

食べ慣れたお米を感じる柔らかな甘さ

酒蔵だからこそ実現した
日本酒とビールの融合をお楽しみください

長龍酒造製造 ライスラガーは
広陵町ふるさと納税
登録返礼品です



QRコードから、お好きなポータルサイトをご選択ください。ポータルサイトは、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、さとふる、ANAのふるさと納税、ふるなびからご選択いただけます。

長龍酒造製造のクラフトビール
はこちらから



いずれのビールも限定製造のため、数量には限りがあります。また、賞味期限は一般のビールと比べ非常に短くなっております。



令和3年 **7** 月 **17** 日
先行販売開始

公有地売却をきっかけに
新たな地場産品の創出

ふるさと納税に掲載

本日は、ご清聴ありがとうございました。

